

秘主義!)が哲学的であるということのようです。『銀河宇宙オデッセイ』もこの“哲学”の呪縛からは逃れ切れてないように思います。ホーキング氏の扱いがまさにそうで、ホーキング氏について知りたいのならば、彼の生い立ちがどうこうということ詮索したり彼の“哲学”的な言葉をありがたがるのではなく、彼の科学的主張およびそれに至るまでの彼の科学的試行錯誤こそを重視して番組に取り上げるべきだと思います。10年ほど前に放送されたセーガンの『コスモス』は哲学的感動を与えましたが、それは、たとえばケプラーらの天文学者の姿を紹介することによって科学とは何であるかを伝えることに力を注いでいたからだと思います。今回の『銀河宇宙オデッセイ』を見て、絵はきれいだったし、内容も新鮮で刺激的でよかったのに、いま一つの感があったのは、この点で物足りなかったからであるように思います。

いろいろ批判めいたことを申しましたが、やはり、映像の力は強く、視聴者に宇宙を身近に感じさせたことの功績は計り知れぬ大きさがあると思います。何年かして同じような番組が作られるときには、天文学の進歩により、内容はがらっと変わっていることでしょう。銀河を研究するものとしては、題名が『銀河宇宙オデッセイ』である割には銀河そのものに関する記述が少ないなど、残念に思ったものですが、よく考えてみれば、銀河そのものについてはわからないことだらけで、TV番組にするには難しかったのかもしれない。番組を見ながらこう考えて、1990年代は、銀河についての研究を進める年代なのだなど、身の引き締まる思いがしました。

石附澄夫(東大理)

宇宙の起源

英国王立研究所公開講座「クリスマス・レクチャー」
最新のデータが語る宇宙の誕生

マルコム・S・ロンゲア 著
柳瀬尚紀 訳

河出書房新社、203ページ、1,800円

科学の最先端の成果を素人にわかり易く説明するという作業は、途方もない才能と努力を要求するものだ。特に、今もってわかっていない問題の、わからない由縁を素人に説明しようなどという暴挙に出る人は、まずいと言っただけでよい。著者のロンゲア教授は果敢にそれに挑戦し、これまでにない成功を治めている。

本書は、1990年度英国王立研究所「クリスマス・レクチャー」の内容を、講演者自身が本にまとめたものである。内容は、著者自身の言葉によれば、「宇宙に存在するありとあらゆるものの起源」を説明し、同時に「天文学者の現在の理解の最先端における知的興奮と、研究に対する途方もない要求」を伝えたものである。もちろん、「宇宙に存在するありとあらゆるものの起源」が現在分かっているわけではない。しかし、ここ二、三十年の間に、宇宙に対する理解は観測の面からも理論の面からも目ざましく進んでいる。その現在の到達点を科学者の大いなる努力にも関わらず解明されずに残されている問題点に重きを置いて解説したのが本書といえるだろう。

こういう未解決の問題の難しさの由縁を理解するには、その背景となる知識が必要なものである。実際、問題が問題であることが分かっただけで、その問題を学者がどう解こうとしているか、うまく解けたときにどういう知的興奮を覚えるかなど、自ずと理解されることが多い。本書でも、多くのページ数を費やしながらかし、しかし読者にあまり努力を強いないで、問題の背景が順を追って説明されている。むしろ、この辺の解説の周到さと緻密さが、本書を特徴付けていると言ってもいいかも知れない。また、最先端の成果を説明するに

は、最新のデータが必要である。本書には、天文のありとあらゆる分野からの最新の図版が豊富に取められている。

もともと「クリスマス・レクチャー」は青少年を対象にしたものであり、本書も中学生から高校生ぐらいを読書として想定しているようである。そのせいか、些細なことではあるが、難しそうな言葉にはルビがふってあったり、巻末に用語集が

あったり、細やかな配慮がうれしい。あいにく参考文献は全て洋書であるが、役に立つこともあるだろう。また、宇宙の起源では日本で第一人者の佐藤勝彦氏による解説があり、本書の内容はもちろぬ、「クリスマス・レクチャー」や著者自身についても説明がなされている。本文だけでなく、「おまけ」も充実している本である。

堂谷忠靖（宇宙研）

月報だより

「超高速計算機による数値的天文学の構築」研究会

科学研究費総合Aの表記の研究会を開催します。理論シミュレーション及び専用計算機に関する研究発表を募集します。講演を申し込む方、及び参加をご希望の方は下記世話人までお知らせ下さい。

研究会 超高速計算機による数値的天文学の構築
日 時 1992年3月5日(木)－6日(金)
場 所 静雲荘(文部省共済宿舎)
神奈川県足柄下郡箱根町強羅 1320
電話 0460-2-3591

なお、参加者は約50名と考えております。

参加ご希望の方は、全てご連絡下さい。その際、旅費・宿泊費の希望の有無をお知らせ下さい。

講演ご希望の方は、表題とアブストラクトを世話人までお送り下さい。

申込締切 1992年2月10日(必着)

世話人 観山正見
〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1
TEL: 0422-41-3738
FAX: 0422-41-3746
E-mail: miyama@top.mtk.nao.ac.jp

三菱財団自然科学研究助成公募

- (1) 独創的、かつ先駆的研究で、その国際的発展に先導的役割を担う萌芽ともなる研究に助成を行なう。本年度は、下記の分野を重点として助成の対象と致しますが、独創的なものはそれ以外の研究でも積極的にとりあげられます。
- (2) 重点対象分野
 - (1) 実験方法の開発・改良に関する研究
 - (2) 工学における境界分野の基礎研究
 - (3) 新しい工学的システムとデバイスの基礎研究
 - (4) 宇宙・地球規模の環境に関する基礎研究
 - (5) 新物質、新材料の作製と物性に関する基礎研究
 - (6) 生物活性物質・生体機能物質の基礎研究
 - (7) 発生系における分化と遺伝子発現の制御に関する研究
- (3) 助成の金額と期間
 - イ. 総額2億8千万円を予定、1件2千万円以内(本年度は30件程度を目標とします)
 - ロ. 期間は1年を原則とします。
- (4) 応募方法
所定の申込書に必要事項をご記入の上、正一通、副五通(コピー)を当財団宛ご送付願います。